

## ポスター作成テキスト

### 1、ポスター発表の内容は？

ポスターは次の項目で構成。※発表もこの順にそって行われます。

- 1 序論 → 課題、仮説、背景
- 2 検証方法（実験や観察）→ 研究対象、方法
- 3 結果の考察 → 結果（データ）と考察を分けて記述しても可
- 4 まとめ → 結論、展望

相手の視線は基本的に上部に集まるため**序論とまとめを上部に配置**\*1  
 します。この配置は**上部だけで研究の全体像が伝わる**利点があり、  
 本校ではオススメしています。実際は自由に作ってかまいません。



図1 ポスターの構成

#### ①序論

序論ではこの**課題に取り組む必要性**を相手に説得します。**相手を聞く気にさせる**ところです。\*2

**課題**：「何を明らかにしたいのか？」を示します。

疑問文にすると問題点が明確になり、伝わりやすくなります。

**仮説**：課題に対して**予測した答え**を示します。課題研究はこの仮説を検証するために行われます。

ここがハッキリしないと、何のために実験や観察をするのかが相手に伝わりません。

**背景**：**なぜこの課題に取り組むことになったのか？**その背景を示します。単に「興味をもった」という動機はさけた方がよいです。「～に役立つと考えた」などその**課題の解決が何かに貢献できることを示す**と相手は興味を示します。

#### ②検証方法

仮説を検証するために**何をどうしたのか？**を伝えます。料理にたとえるなら「レシピ（作り方）」です。

**研究対象**：具体的に**何を**研究対象にしたのかを示します。料理なら「材料」の紹介にあたります。

特に生物学は個体の種類によって結果が大きく変わるので、明確に示しましょう。

**方法**：**どのように**データを取ったのかを示します。料理なら「調理方法」の紹介にあたります。

文は最小限にして写真や図を用いると伝わりやすくなります。

#### ③結果と考察

得られたデータと、そのデータに対する考えを伝えます。これを根拠に結論を導きます。

**結果**：得たデータはグラフや表を効果的に用いることで、相手に伝わりやすくなります。

**考察**：得たデータから**何が言えるのか**を示します。**データに対する自分の意見**といえる部分です。

#### ④まとめ

結果と考察を根拠にして、**課題の答え**を伝えます。展望を伝えると助言がもらえるかもしれません。

**結論**：課題に対する答えを示します。

**展望**：完結してしまう研究活動など存在しません。新たな結論はまた新たな課題を生み出すからです。

「これを応用して～したい」「ここに問題があったから～したい」という未来に向けた熱意をここで宣言します。

## 2、様式について

- |          |  |
|----------|--|
| 1 ◆作成ソフト | Word   |
| 2 ◆初期設定  | 用紙サイズ : 縦置き A4<br>マージン (余白) : 上下左右 15mm  |
| 3 ◆フォント  | ・サイズ : 10~15 ポイント ※タイトル 24Pt は名前 12Pt<br>・フォント : <b>MPゴシック</b> ※特殊なフォントは使わない<br>“文字化け” や “文字列のズレ” が生じるため |

これは守る！

- 4 ◆注意事項 ※細かな注意点は「**ポスターチェックシート**」を参考にする

- ・全体背景 : 白が基本。画像やパターン、色は使わない。 ※文字が読みにくくなる
- ・文字 : 短文&箇条書きがよい
- ・図や画像 : 400%に拡大表示して、画像にボケやにじみが出ないか確認
- ・レイアウト : **自由** ※記入例やひな形はあくまで見本！**必ず守るものではない！**